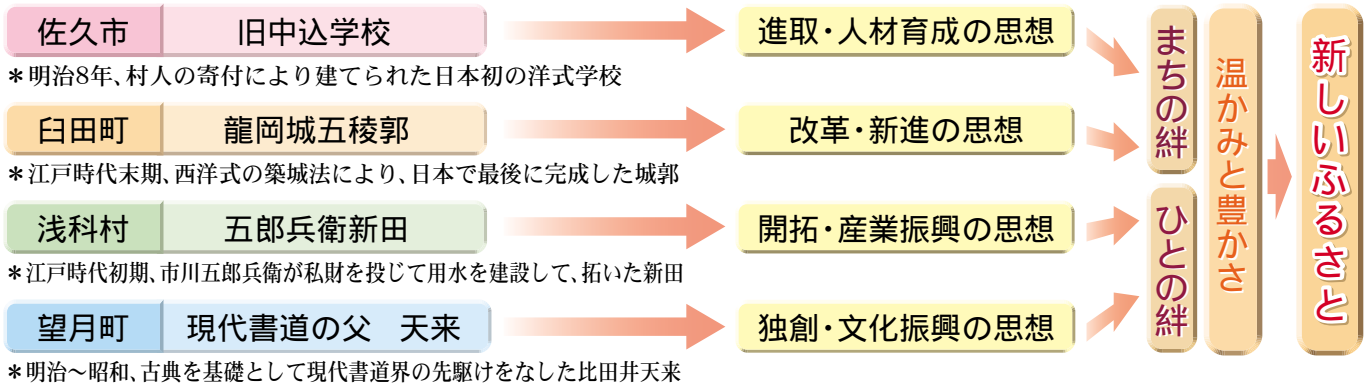


「今のままで、何とかなる... 困ったら誰かが何とかしてくれる。」  
 「20年・30年先のことは、その時に考えれば良い！」  
 本当にそうでしょうか？



私たちには、先輩方の地域の将来を見据えた“叡智”と“情熱”が受け継がれています。



私たちは、この志を新たな文化の礎として発展させ、未来を担う子どもたちに伝えていかなければなりません。



「今」市町村合併が必要です。

市町村合併は、これから未来を担っていく子どもたちが、21世紀へ挑戦していくための基盤づくりへの第二步です。

【今世紀末 100年後】 超人口減少社会に

人口減少に歯止めはかかりません。日本の人口は、現在の1/3に減少します。  
 人口4千万人の日本の姿を想像してみてください。  
 孫たちが22世紀に向けて生きる時代です。  
**だからこそ、今、将来を見据え、市町村合併が必要です。**

【今世紀半ば 50年後】 生産年齢人口が、現在の半分に

遂に、高齢者人口も減少を始めますが、高齢化率は40%に上昇します。  
 生産年齢人口は、現在の半分にまで減少して、人口に占める割合は50%になります。  
 社会をどのように維持していけば良いのか見通しが立ちません。  
 今年生まれたばかりの子どもたちが生きる時代です。  
**だからこそ、今、将来を見据え、市町村合併が必要です。**

【30～40年後】 超少子・高齢化から人口減少社会に

消防団 (臼田町)

日本の人口は、遂に1億人を割り、9千万人台まで落ち込みます。  
 第2次ベビーブーム世代も老年人口に入り、高齢化率は35%を超え、生産年齢人口割合は60%を割り込みます。年少人口は、1千万人を割ってしまいます。  
 今のままの社会保障制度は、通用しなくなり、新たな制度が求められます。  
 「混迷の時代」を、どのように切り開いていけば良いのでしょうか？  
 21世紀を生き抜ける力強い自治体が求められます。  
**だからこそ、今、将来を見据え、市町村合併が必要です。**

